

休校が続く葉山幸保愛児園の子どもたちにお菓子を贈呈

今回もフードバンクかながわで車一杯に食料を頂き



緊急事態宣言の延長が確実視されている中、三浦半島労福協及び地域連合は5月1日（金）9時30分に『葉山幸保愛児園』を訪れ、お菓子や飲み物を中心に542点・79キロを寄贈しました。

幸保愛児園では、学校の臨時休校が続き、在園する子どもたちの時間が延びています。そのため、通常の食材に加えて、子どもたちのおやつがわりになるものなどが大量に必要になっています。

このように、休校措置の長期化などの想定外の状況の中、子どもたちの日常生活の変化を受けて食べ物についての新たなニーズが生まれています。それを受け、4月27日の鎌倉児童ホームに続いて、『葉

山幸保愛児』にもお菓子や飲み物を中心に寄贈を行いました。

新型コロナウイルス感染防止の観点からは、本来配送などで対応することが望ましいところですが、乗用車がほぼ満杯になる量（542点・79キロ）を配送するとコストが非常にかかってしまうため、施設に連絡をして、事務局1名が訪問して、直接届けました。感染防止対応のため、施設の外でお渡しする形をとりました。

職員・子どもたちも新型コロナウイルス感染がおさまり、一日でも早く通常の生活に戻ることを願っていました。また、休校中ではあるものの、集団生活を営んでいる愛児園の子どもたちは、その関りの中で、元気に明るく生活している等の話を伺いました。お菓子などは、子どもたちにとって心と体のエネルギーになるとのお話もあり、緊急事態宣言という先の見えない不安の中でも、幅広い連携での相互扶助が子どもたちの笑顔を支える重要なとりくみとなっていることが再確認できました。

今回のような急に食品などが必要な時にフードバンクかながわは非常に助かります。

現在、三浦半島労福協及び地域連合は構成組織・団体の皆さんとともにフードドライブを進めています。フードバンクの推進には日頃からのとりくみが大切です。一点でも多くの集約を目指し、引き続きの協力をお願いします。

幸保愛児園理事長に施設の外で寄贈



三浦半島統一メーデーは、2019年度から『フードドライブ』に取り組んでいます。組合員・会員のご家庭にあるものを収集して頂き、必要としている方やご家庭に届ける活動になります。

5月15日までに各組織・団体で行っているフードドライブへの食糧の提供、そして集約をお願いします。

構成組織・団体の皆さんのご協力をよろしくをお願いします！